

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成28年 1月25日

協議会名: 宮城県地域路線バス等対策連絡協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス	No.1 白石遠刈田線 (白石蔵王駅～宮城蔵王ロイヤルホテル)	運行ダイヤの見直しは実施していないが、特段問題は起きていない。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した JR駅での列車接続の確保。
(株)ミヤコーバス	No.2 川崎線 (大河原駅前～川崎)	大河原駅での列車接続について改善を行う予定(平成27年12月実施)である。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した 新型IC車載機導入により収集される利用実績の分析を行う。
(株)ミヤコーバス	No.3 利府線 (塩釜営業所～しらかし台)	運転士不足のため、やむなく減便を実施した。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した 減便後の利用実績を注視し、早期に旧に復するよう努める。
(株)ミヤコーバス	No.4 汐見台線 (多賀城駅前～菖蒲田)	運転士不足のため、やむなく減便を実施した。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した 減便後の利用実績を注視し、早期に旧に復するよう努める。
(株)ミヤコーバス	No.5 吉岡線 (地下鉄泉中央駅～道下)	利用実態にあわせたダイヤ改正を実施した。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した 新型IC車載機導入により収集される利用実績の分析を行う。
(株)ミヤコーバス	No.6 色麻線 (古川駅前～色麻町役場)	大崎市民病院経由と塚の目経由の利用状況の把握や、お客様からの意見集約を行った。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した 利用実態にあわせて運行計画の見直しを行う。
(株)ミヤコーバス	No.7 石巻免許センター線 (石巻駅前～石巻駅前)	石巻地域の路線バス再編計画について、関係機関と具体的な検討を行った。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した 再編計画について、関係機関と引き続き協議を行っていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
(株)ミヤコーバス	No.8 河南線 (石巻営業所～河南総合支所)	石巻市域の路線バス再編計画について、関係機関と具体的な検討を行った。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した	再編計画について、関係機関と引き続き協議を行っていく。
(株)ミヤコーバス	No.9 石巻専修大線 (石巻駅前～飯野川)	石巻市域の路線バス再編計画について、関係機関と具体的な検討を行った。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した	再編計画について、関係機関と引き続き協議を行っていく。
(株)ミヤコーバス	No.10 三陸線 (石巻駅前～飯野川)	石巻市域の路線バス再編計画について、関係機関と具体的な検討を行った。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した	再編計画について、関係機関と引き続き協議を行っていく。
(株)ミヤコーバス	No.11 鮎川線 (石巻駅前～鮎川港)	石巻市域の路線バス再編計画について、関係機関と具体的な検討を行った。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した	再編計画について、関係機関と引き続き協議を行っていく。
(株)ミヤコーバス	No.12 女川線 (石巻駅前～女川運動公園)	復旧した女川駅への乗り入れを行い利便性が向上した。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した	再編計画について、関係機関と引き続き協議を行っていく。
(株)ミヤコーバス	No.13 三陸線 (津谷営業所～河原田)	BRTの動向を注視しながら営業を行った。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した	必要に応じた減便等、運行計画の見直しを行う。
(株)ミヤコーバス	No.14 御崎線 (市立病院前～御崎)	本年度内は特段の変更の必要は生じなかった。	A	計画通り適切に実施された	A	計画通り目標を達成した	引き続き沿線の復興状況を注視していくとともに、気仙沼市立病院の移転に向けた対応の検討を行う。
東北アクセス(株)	No.15 仙台南相馬線 (仙台～南相馬)	前年同様、ダイヤ改正等を図り、利便性の向上に努めた。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	事業が計画に位置づけられた目標を達成した。	宮城県亙理郡山元町の利用者のサービスの向上を図りたい。

## 事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について

平成28年 1月25日

協議会名:	宮城県地域路線バス等対策連絡協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<ul style="list-style-type: none"><li>・少子等によりバス利用者は減少しているが、自家用自動車等の移動手段のない住民にとって、バスは必要不可欠である。</li><li>・利用者の低迷により、バス事業者の自助努力のみで路線を維持することが困難であることから、公的支援が必要不可欠である。</li><li>・特に東日本大震災により被害の大きかった沿岸地域においては、利用者等からの要望等の把握に努め、まちづくりの進捗状況を踏まえながら、経路や運行ダイヤの見直しを行い利便性の向上に努める。</li></ul>